

参加者 101名 (33家族)

③ 研修内容

- 御霊櫃峠登山 (つつじ探勝)
- 交歓会 (ダンス・ゲーム・キャンドルサービス)

(2) キャンプで語ろう親子のつどい

① 目的

テントによるキャンプ生活や、家族単位のオリエンテーリング大会、及びキャンプファイヤーを囲んでの語り合いの中から、親子の心の触れ合いと、参加者相互の親睦をはかる。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和55年8月5日～7日 2泊3日
- イ 会場 福島県少年自然の家
- ウ 対象及び参加者数

親子または地域グループ単位

参加者 132名 (39家族)

③ 研修内容

- オリエンテーリング大会 ○交歓のつどい (ゲーム)
- キャンプ ○キャンプファイヤー ○水泳

(3) 雪を楽しむ親子のつどい

① 目的

冬のきびしい自然の中でのそりすべりを通して、寒さを克服する強い意志を養い、また、もちつきやゲーム・ダンスなどを楽しみながら他家族との心の交流をはかる。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日
第1回 昭和56年1月31日～2月1日 1泊2日
第2回 昭和56年2月7日～8日 1泊2日
- ウ 会場 福島県少年自然の家
- ウ 対象及び参加者数

親子または地域グループ単位

参加者数 第1回 104名 (31家族)

第2回 114名 (32家族)

③ 研修内容

- そりすべり、○もちつき ○交歓のつどい (ゲーム・ダンス)

(4) 集団宿泊指導者研修会

① 目的

少年自然の家を利用する社会教育団体指導者、及び社会教育担当者による、当所の効果的な利用計画について研究協議するとともに、実技研修による指導技術の向上を図る。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和55年5月24日～25日 1泊2日
- イ 会場 福島県少年自然の家
- ウ 対象及び参加者数

少年自然の家を利用する社会教育団体指導者及び社会教育担当者

参加者数 27名 (18団体)

③ 研修内容

- 全体会(入所の手続きと準備、プログラムの編成と展開)
- 実技研修 (キャンプファイヤーの企画と演出、伝承遊び、ウォークラリー)

- 研修活動の紹介 (ナイトハイキング、自然観察2、オリエンテーリング)

(5) 利用指導者事前協議会

① 目的

小・中学校における当所の効果的な利用を図るための手続き、及び研修内容や望ましい研修計画の立て方等について研究協議するとともに、実技研修による指導技術の向上を図り、併せて事前打ち合わせを実施する。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日
昭和55年4月22日～23日 1泊2日
昭和55年6月24日～25日 1泊2日
昭和55年8月19日～20日 1泊2日
昭和56年2月17日～18日 1泊2日

イ 会場 福島県少年自然の家

ウ 対象及び参加者数

昭和55年度6月～3月まで及び昭和56年度4月～5月までに当所を利用する小・中学校の教職員

- 参加者数
昭和55年4月22日～23日 55名
昭和55年6月24日～25日 53名
昭和55年8月19日～20日 45名
昭和56年2月17日～18日 52名

③ 研修内容

- 研究協議 ○講演 ○実技研修 ○研修活動の紹介

(6) 青少年教育実技指導者研修会

——野外活動(基礎講座)——

① 目的

青少年教育に携わる指導者の野外活動実技指導の向上をはかるため、実技に関する基礎的知識や技能・指導法について研修し、その資質の向上をはかる。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和55年7月31日～8月3日 3泊4日
- イ 会場 福島県少年自然の家
- ウ 対象及び参加者数

県内の高校生・大学生並びに社会教育関係者・学校教育関係者中の初心者

参加者数 29名

③ 研修内容

- 講義 ○実技 ○演習

(7) 青少年教育実技指導者研修会

——レクリエーション(基礎講座)——

① 目的

青少年教育に関係する指導者のレクリエーション実技指導の技術向上をはかるため、実技に関する基礎的知識指導法について研修し、その資質の向上をはかる。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和55年8月21日～24日 3泊4日
- イ 会場 福島県少年自然の家
- ウ 対象及び参加者

県内の高校生・大学生並びに社会教育関係者・学校教育関係者中の初心者

参加者数 28名

③ 研修内容

- 講義 ○実技 ○演習